

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パレスト西新 新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡市早良区西新7丁目801-39	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22	平均居住人員	344 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年10月9日
敷地面積	5,241 m ²	作成者	株式会社サンユニオン一級建築
建築面積	1,624 m ²	確認日	2015年11月11日
延床面積	9,976 m ²	確認者	株式会社サンユニオン一級建築



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 73% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 73%

④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

音環境	3.2
温熱環境	2.6
光・視環境	2.8
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

機能性	2.5
耐用性	3.2
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 1.8)

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.6)

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.7)

水資源	2.2
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.3)

地球温暖化	4.0
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地内の接道や中庭部分に積極的に緑化を設けることにより、地域住民に対し潤いを与える計画とした。また、太陽光パネルを設置することで、地球環境に配慮した計画を行い、エネルギー負荷抑制を図った。		特になし。
Q1 室内環境 ペアガラスの採用や屋根・壁・床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。	Q2 サービス性能 ゆとりある階高・天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺の住宅地に配慮した計画とし、周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。
LR1 エネルギー 高効率な給湯器を採用し、エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル PS配管、GL工法、置床工法を採用することにより、内装材と設備が錯綜せず部材の再利用性向上を図った。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される